

ファミリア動物病院 福富 彰

半導体レーザー治療に関して

①導入時期：2019年4月

②よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

避妊手術（犬・猫・ウサギ）、口腔内腫瘍、肛門周囲腺腫、
ICG-Lipoによる切除不可能な腫瘍の縮小。

止血するのが大変な症例には助かっています。ベアファイバーは細かい部位まで
接触、蒸散や止血が出来るので助かっています

③使用頻度：

週3～4回

④印象的な症例：

高齢の短頭種の耳垢腺癌。ICG-Lipoとレーザー照射にて腫瘍の縮小を実感した。

⑤採算に関して

正直、ファイバーの価格がもう少し安ければと思う。

ファイバー先端リフレッシュに失敗し、余分に折ってしまった時に少々凹みます。

⑥今後のテーマ

疼痛管理で使用すれば使用頻度はもっと上がると思いますが、現在はスタッフ（人手）を取られるのが嫌で現在あまり行っていません。

⑦他のユーザーへのコメント

多機能ですので、いろいろ使用場面が広がるとコストパフォーマンスはよいような気がします。



病院及び Dr 紹介

病院概要：ファミリア動物病院

福岡県大野城市、2005年4月開業

獣医師：福富彰院長、福岡県出身、酪農学園大学卒業

外科用機器：D-LaseV20、En-Seal、